

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイーレ石垣 (第1単位)		
○保護者評価実施期間	2026年2月3日		2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2026年2月3日		2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月3日		2026年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分な経験のある専門職が訪問支援に従事している	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性に基づいた情報を相手方に理解しやすい形で提供するようしている ・訪問支援員同士で情報交換をし、それぞれのケースについて相談しあえる関係にある ・専門職が新しい知見の獲得やスキルアップを意識的に行なっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての計画的な研修の受講 ・スキルアップを図るために、余裕がある範囲で事業所内の他の訪問支援員に同行する ・他の事業所との連携協会
2	訪問時ではない時間帯に、情報交換の時間を取って関係期間連携を行なっている	訪問時に短い時間でも担任などと口頭での情報交換をしている	公式LINEを使って、訪問先の困りごとを含む日常的な情報交換が行える体制を整える
3	訪問先との良好な関係が築けている	訪問開始前に制度や事業所の体制や手続きについて説明に行き、その時に対象の利用児の情報交換もしている	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット以外に園・学校のそれぞれに応じた説明文を用意する ・特に学校への説明に使うために、文部科学省が出している通達を持っていける用意をする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が不足している	施設基準上、訪問支援に当たることができるスタッフ数が限られている	訪問支援に通所対応のスタッフを同行させ、スタッフ数が増えた時にすぐに訪問支援に当たれる体制を作る
2	訪問支援と通所対応をしている兼務者の訪問回数が増えない	訪問の記録、特にスプシを書くことに時間を取られている	スプシの内容や書き方について整理をして、短時間で作成できるような工夫をする
3	遠隔地への訪問頻度が不十分	石垣市内でも片道1時間弱かかる場所がある。離島であればさらに時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ園、学校で複数名の利用児を獲得するような働きかけをする ・利用児がいる園、学校の近くの園、学校での利用児を獲得するような働きかけをする

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	ジョイーレ石垣（第1単位）
------	---------------

公表日 2026年3月31日

利用児童数 56

回収数 26

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	1		17		支援に必要な教具・教材を適切に揃え、訪問先でも効果的な支援ができるよう充実に努めています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	20			6		プライバシーを守る環境を整え、保護者が安心して相談できる場を提供できるよう心がけています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	24	1		1		事業の目的や役割を丁寧に伝え、支援の方向性についてご理解いただけるよう説明に努めます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	16	5	3	2	離島で調整が難しい中、訪問日を作ってください、ありがとうございます。	お子様や訪問先の状況に合わせて、最適な訪問頻度や時間を柔軟に調整できるよう常に心がけています。
適切な 支援 の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	15	3	2	6	自分の専門知識がないため、適切人数がどれくらいなのかわかりません。	お子様一人ひとりの状態に適した専門職の配置を行い、質の高い支援体制の維持に努めています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	3				専門性を活かした丁寧なアセスメントを行い、特性に寄り添った最適な支援の提供を心がけています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	3				ニーズや課題を客観的に分析し、お子様の成長を支える適切な計画の作成と更新に努めています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	16	1	1	8		訪問先施設や担任の先生との連携を密にし、園での生活に即した支援内容の反映に努めています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			9		ガイドラインに基づいた具体的な効果的な支援を設定し、一貫性のある支援提供を心がけます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			6		作成した計画の内容を確実に行動へ移し、目標達成に向けた着実な支援の遂行に努めています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	20			6		訪問先の活動を妨げないよう十分に配慮し、円滑な協力関係を築けるよう細心の注意を心がけます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24			2		契約時には運営規程や利用者負担について、分かりやすく丁寧な説明を行うよう心がけています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1		5		個別支援計画を提示しながら、目標や支援のポイントを保護者としっかり共有できるよう努めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	13	3	5	5		相談機会や情報提供の場を積極的に設け、ご家族の不安や悩みに寄り添える支援の充実に努めます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	21	4		1		お子様の変化や課題をタイムリーに伝え合い、同じ目標に向かって支援を進められるよう心がけます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	3		1		面談を通じて日頃の悩みやご要望を丁寧にお聞きし、適切な助言や情報提供に努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	2				保護者の思いに共感し、信頼関係を大切にしながら、共に歩む支援を常に心がけています。
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1	2	3		相談しやすい体制を整え、お申し出には迅速かつ誠実に対応し、安心の提供に努めてまいります。	

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2	1	3		連絡手段や伝達方法を工夫し、円滑で漏れのないコミュニケーションが図れるよう努めています。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	19	1		6		園からの相談に専門的知見から丁寧に応じ、現場で活かせる具体的な助言や支援に努めています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14	2		10		訪問の都度、施設側と支援内容を振り返る機会を持ち、連携の質の向上を常に心がけています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	18	5	1	2		訪問時の様子や話し合いの内容を的確に保護者へお伝えし、支援の可視化と安心に繋がります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			7		ホームページ等での情報発信を強化し、事業所の活動内容をより身近に感じていただけるよう努めます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			7		お預かりしている情報の重要性を深く認識し、厳重な管理体制のもとで適正な取扱いに努めます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	11	3		12		訪問先と緊急時の対応手順を事前に共有し、万が一の際にも迅速に連携できる体制の構築に努めます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			12		安全計画の周知を徹底し、お子様が常に安全な環境で支援を受けられるよう意識向上に努めます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	22	2	2		嫌がっていません	訪問を楽しみに待っていただけるよう、お子様との愛着関係を大切に温かな支援を心がけます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	21	2	2	1	いつもお世話になっております。ジョイーレさんの支援があり子どもの言葉が増えて話しをする事が本当に楽しくて成長を感じました。楽しく通えているので嬉しいです。今後も支援を宜しくお願い致します。	いただいた温かいお言葉を励みに、今後もより一層満足いただける質の高い支援の提供に努めます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2026年3月31日				
ジョイーレ石垣 (第1単位)		利用児童数 56 回収数9				
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・支援の方法等もアドバイス頂き感謝しています。 ・職員の困り感の相談等の、アドバイスや、その日の振り返りをしていただくことで、その子の困り感や手助け等を再確認することができた ・訪問支援記録もいただけて、他職員とのケース会議でも使えるのでありがたいです。 ・自分自身の支援がまだまだ未熟なため、支援方法の助言をいただき、とてもありがたかったです。 	記録の共有が役立っているとお声を励みに、今後も現場で即実践できる具体的な助言の提供に努めます。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から毎月訪問に来ていただき、成長の気付きをお互いに話し合えるので、ありがたいです。 ・的確なアドバイスをいただけている 	毎月の訪問を通じた成長の気づきを大切に、常に最新の専門知識を支援に還元できるよう研鑽に努めます。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8	1		対象児童の保護者に関して、年度始めの訪問で共有したかったです。(共有が、年明けになってしまいました。)支援学級は、保護者(ご家庭)の方考え方や、価値観により、悩む時があります。担任、デイサービスで協力が必要かと思いました。共有していただいたことは、大変助かりました。	年度当初からの情報共有を徹底し、ご家庭の価値観等も踏まえた細やかな連携の早期実施を心がけます。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・話すことに自信はついてきましたが、初めて挑戦する事柄に不安を感じて萎縮してしまう姿が見られ、経験の積み重ねによって解決していくように思われるので、どちらともいえない項目にチェックさせていただきました。 ・訪問支援で来てくださるときには、なかなか直接お話しすることが少ないので、児童の様子を見ていただく月と担任と情報共有する月などに分けて訪問支援員さんとお話しする機会があるとありがたい。(学期に1回程度か、もしくは担任からの希望で設定する等) 	担任の先生との対話時間を定期的に確保し、お子様の不安に寄り添う経験を共につくる支援体制に努めます。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	9				連絡負担軽減のため調整方法を改善し、園全体の巡回支援の充実についても前向きに検討し努めます。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と療育事業所の関係性が良好で、訪問支援員さんの助言を参考に保育を行うことが出来ました。療育事業所に繋げていきたい家庭に関しての巡回支援の充実を園で年に数回行えるよう思案中です。 ・授業の訪問はありがたいが、時間割調整が大変だったので、少し回数を減らすか、調整するための連絡フォームを作るかするともう少し連絡を取り合う負担が減るかなと思いました。 				<ul style="list-style-type: none"> ・連携関係を活かし、園全体の巡回支援の仕組み作りについても、関係各所と相談しながら積極的に検討し努めます。 ・調整の負担を軽減するため、回数の見直しや連絡フォームの導入による円滑なコミュニケーション手段の構築に早急に努めます。 		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ジョイーレ石垣 (第1単位)				公表日	2026年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 運営・ 体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5			訪問先でも効果的な支援が行えるよう、お子様の状況に合わせた適切な教具教材の選定と充実に努めます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4		・あと1.2人増えるとより充実したサポートを続けられると考える ・訪問希望に十分応えられるよう人員体制を強化し、急な欠員時にも安定してサポートできる体制を整えます。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・訪問支援での情報をノートなどでピンポイントで共有。 ・1on1で目標や課題の整理ができて良い。	1on1での課題整理やノート共有を継続し、全職員が目標達成に向けた改善活動に参画できるよう努めます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3		定期的な振り返り会議を新たに設け、保護者様の意向をより迅速に運営改善へ繋げる仕組み作りに努めます。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		1on1の機会を最大限に活用し、現場職員の気づきや意見を柔軟に吸い上げ、業務環境の改善に活かしていきます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		同グループの他事業所と相互に意見を交わす機会を作り、客観的な視点からサービスの質の向上に努めます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		質の高い訪問支援を提供するため、WEB研修や内部研修を通じて職員の専門スキル向上に継続して努めます。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5		お子様と保護者様のニーズを客観的に分析し、一人ひとりの実態に即した訪問支援計画の作成に努めています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			児発管と訪問担当者が共通理解を持ち、お子様の最善の利益を最優先に考えた支援方針の決定を心がけます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	2		訪問先施設の担任や担当者様の意向を丁寧にヒアリングし、施設に即した実効性の高い計画作成に努めます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		作成した支援計画を職員間で確実に共有し、目標に沿った一貫性のある訪問支援の提供を心がけています。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3		今後はTASP等の標準化された評価ツールも適切に導入し、より客観的なアセスメントの実施に努めます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5			ガイドラインに基づいた具体的な支援内容を設定し、お子様の集団生活での適応を支える計画作成に努めます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			職員間での情報共有を徹底し、どの担当者が訪問しても一貫した方針で支援が行える体制の維持に努めます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		5	・適宜、必要に応じて訪問支援員がチャットにて情報共有を実施している。 ・必ずしも打ち合わせをしない。または必要がない ・訪問担当児が決まっているため、各々責任を持って行動している。		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3		チャット共有に加え、定期的な意見交換の場を設けることで、担当者の抱え込みを防ぎ、組織的な支援に努めます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5		訪問先の理念や支援手法を十分に尊重し、信頼関係を築きながら円滑に支援が行えるよう配慮に努めています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5			毎回の支援記録を詳細に記し、その分析を通じて支援内容の検証と改善を繰り返すサイクルの維持に努めます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	定期的に保護者様や訪問先の意向を確認し、状況の変化に合わせて最適な計画へ見直すよう心がけています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			状況を熟知した担当者が会議に参画し、関係機関と足並みを揃えた切れ目のない支援の提供に努めます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	地域の医療・教育・福祉機関と網目状に連携し、お子様を多角的に支える支援体制の維持を心がけています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			学校のコーディネーター等を通じて情報を丁寧に引き継ぎ、就学後も安心できる環境作りの協力を努めます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	2		専門家からのスーパーバイズや外部研修への参加を促進し、訪問支援の専門性を高める取り組みに努めます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	2		自立支援協議会等の地域ネットワークへ参画し、地域全体で支える体制づくりに寄与できるよう努めます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の連絡を通じ、発達状況や課題について保護者様と目線を合わせ、一貫性のある支援を心がけています。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		ペアレント・トレーニング等の情報提供を充実させ、ご家族が安心して子育てに向き合えるよう支援に努めます。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		運営規程や費用等について、重要事項を分かりやすく丁寧に説明し、納得感のある対応を心がけます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5			訪問先に対し、事業の目的や役割を正しくお伝えし、円滑な協体制を築けるよう丁寧な説明に努めます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		お子様の想いを汲み取り、ご家族の意向と共に支援計画へ反映させるプロセスを大切にできるよう努めます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	2		アプリ等を活用しつつ、計画内容の重要なポイントを丁寧に説明し、確かな同意を得るための対話に努めます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			子育ての悩みや不安に共感を持って寄り添い、具体的な助言を通じてご家族の安心感に繋がるよう努めます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		5		保護者同士の繋がりや兄弟児支援のニーズを把握し、交流の機会提供についても前向きに検討し努めます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			窓口を周知し、いただいたご意見には迅速かつ誠実に対応することで、運営の透明性と信頼向上に努めます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2		SNSや通信等を活用して活動内容を可視化し、事業所の取り組みをご家族へ広くお伝えできるよう努めます。

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			個人情報の取り扱いに関する規程を厳守し、お子様とご家族のプライバシーを厳重に守る体制維持に努めます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	お子様の特性や保護者様の状況に合わせた情報伝達を心がけ、円滑なコミュニケーションに努めています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5			訪問先からの相談に迅速に応じ、専門的な知見を活かした具体的な助言や支援が行えるよう体制を整えます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5		訪問後に話をする形で時間を取っている	訪問後の対話の時間を大切に、支援の振り返りや今後の方向性を訪問先と共有できるよう努めます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5		お迎えに来た際に口頭でお伝えし、記録でも確認できる形で行っている	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			訪問先との情報授受においても、個人情報の取り扱いを徹底し、安全な連携体制の構築を心がけます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5			訪問先と対等な立場で信頼関係を築き、現場の課題解決に資する専門的な助言の提供に継続して努めます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		通所用のマニュアルに加え、訪問支援に特化した緊急時対応についても明文化し、周知と訓練に努めます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			訪問時の安全管理を徹底するため、研修や点検を継続し、お子様の安全を最優先に守る体制維持に努めます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			事業所内で情報を迅速に共有し、小さな予兆から事故を未然に防ぐための組織的な検討に継続して努めます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			研修等を通じて権利擁護の意識を高め、お子様が安全かつ尊重される支援体制の維持を心がけます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2		原則禁止を徹底し、訪問支援においても尊厳を守るための正しい知識の習得と組織的判断の維持に努めます。